

## 第3章－1 統計データをグラフ化したい

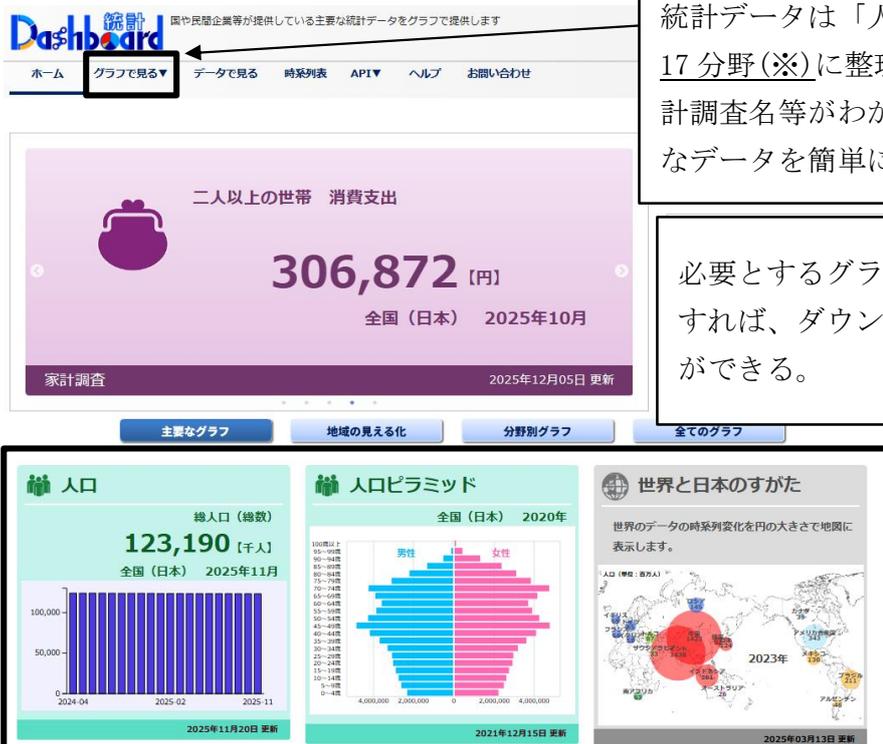
ツール名

統計ダッシュボード（総務省統計局）

特徴

統計データがあらかじめグラフ化されているので、グラフ作成の手間が省略でき、統計データの可視化によりデータの特徴を直感的に把握できる。

トップページ



統計データは「人口・世帯」等 17 分野(※)に整理しており、統計調査名等がわからなくても必要なデータを簡単に探せる。

必要とするグラフをクリックすれば、ダウンロードや印刷ができる。

掲載する画像データは下記のサイトから引用しており、枠囲みや枠囲み内コメント等は新潟県総務部統計課にて加筆したものである。以下、同様。

出典：統計ダッシュボード (<https://dashboard.e-stat.go.jp/>)

(※) 17 分野の統計データ

	分野	統計データ名（一部抜粋）
1	国土・気象	農林業センサス
2	人口・世帯	国勢調査、人口推計
3	労働・賃金	労働力調査、毎月勤労統計調査
4	農林水産業	農林業センサス、社会・人口統計体系
5	鉱工業	鉱工業指数
6	商業・サービス業	商業動態統計、サービス産業動向調査
7	企業・家計・経済	経済センサス、県民（国民）経済計算
8	住宅・土地・建設	住宅・土地統計調査、建設工事統計調査
9	エネルギー・水	社会・人口統計体系
10	運輸・観光	新車販売台数、宿泊旅行統計調査
11	情報通信・科学技術	科学技術研究調査
12	教育・文化・スポーツ・生活	学校基本調査、社会生活基本調査
13	行財政	社会・人口統計体系
14	司法・安全・環境	社会・人口統計体系
15	社会保障・衛生	福祉行政報告例、衛生行政報告例
16	国際	国際収支統計
17	その他	社会・人口統計体系

## 主な機能①

統計データを棒グラフや折れ線グラフで表示することができる。

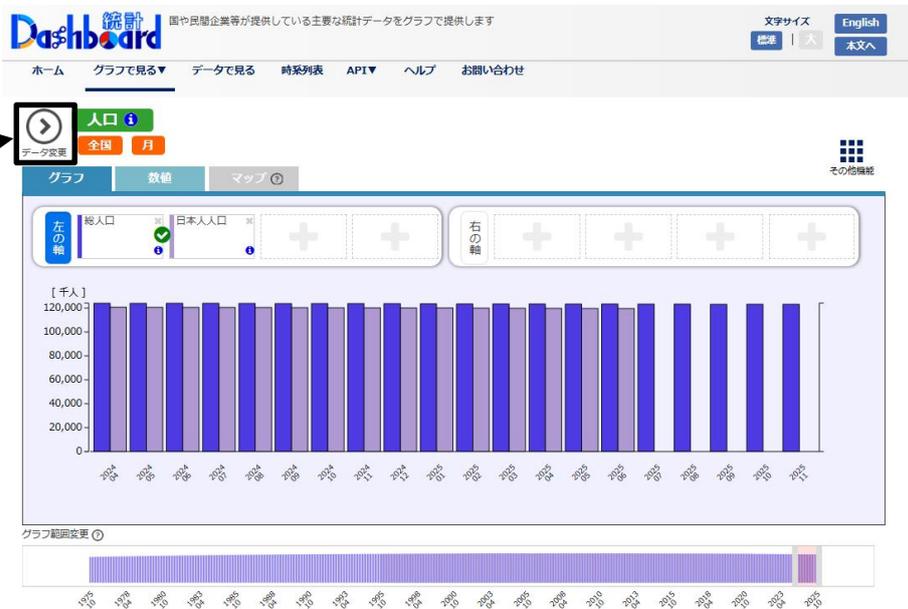
## 例えば

都道府県別の人口について棒グラフで表示する。

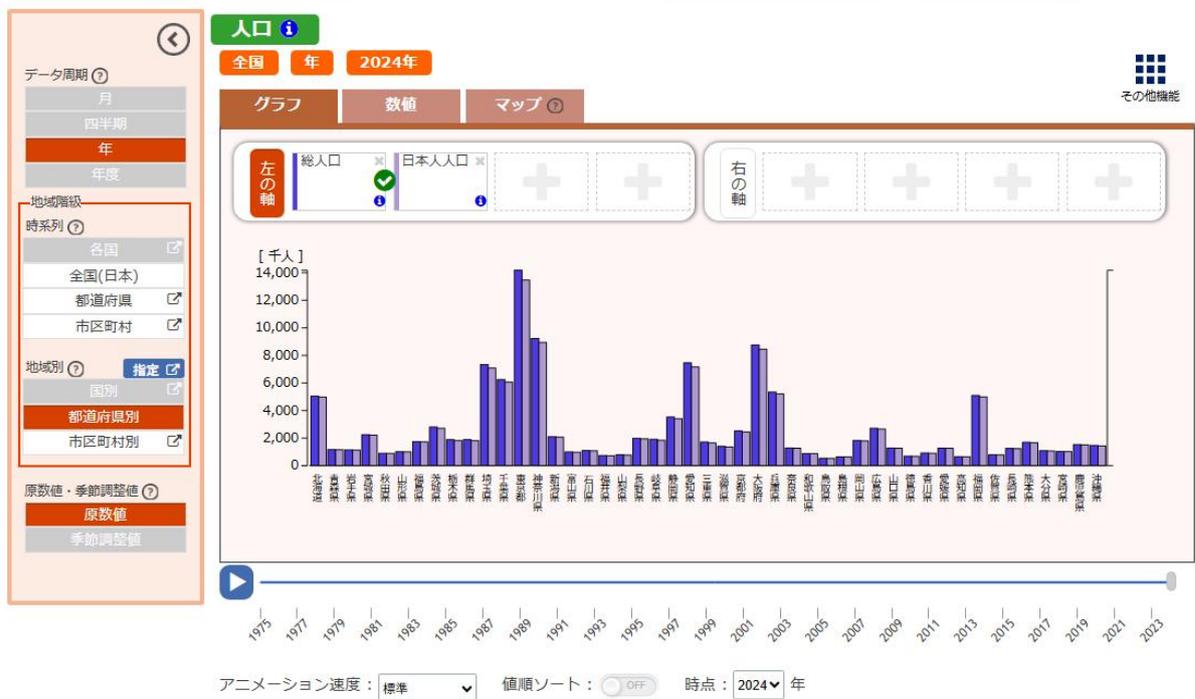
トップページの「人口」をクリック→下図の全国人口が時系列に表示される。

都道府県別人口はデータ変更により表示することができる。

### <全国人口の時系列データ>



### <都道府県別人口>



## 活用例

選択する地域や系列を変更することにより、以下のようなグラフを表示することも可能。

- ・市町村別人口や65歳以上人口についてグラフを表示。
- ・新潟県と同規模程度の他県比較するグラフを表示。

## 主な機能②

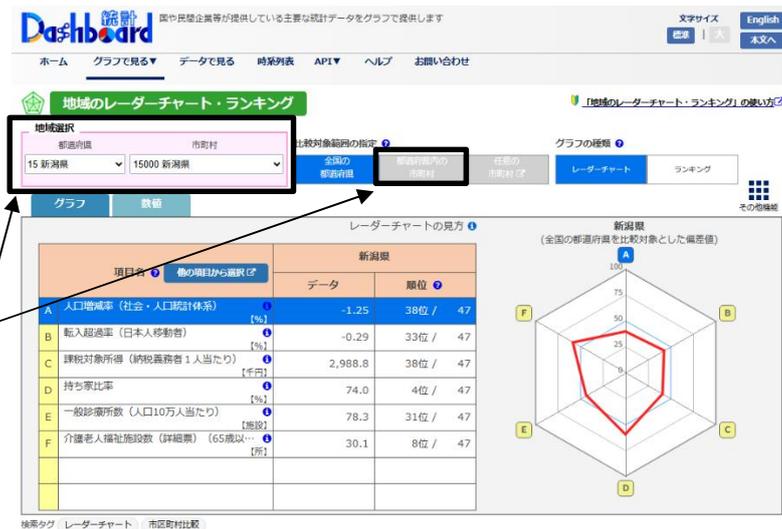
全国や県内順位を把握することができる。

## 例えば

人口増減率について新潟市の県内順位を表示する。

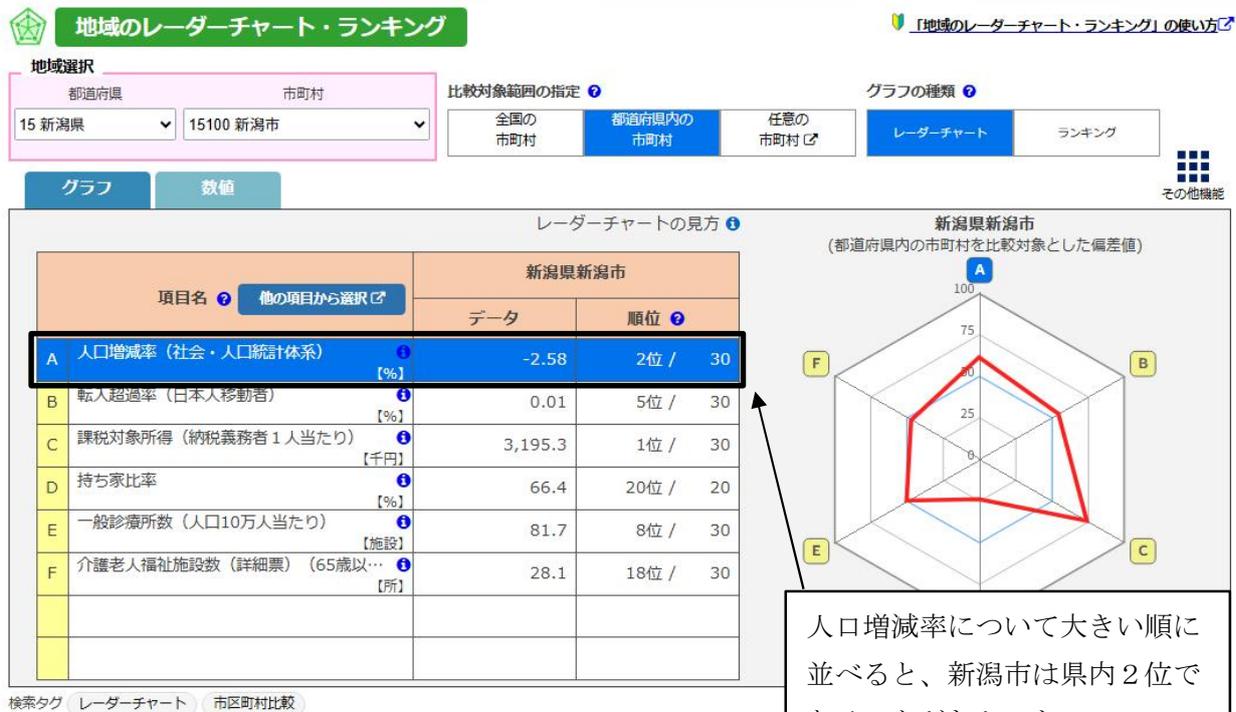
トップページの「地域に見える化」→「地域のレーダーチャート・ランキング」をクリックして以下の手順を踏むと、県内市町村別順位がわかる。県別の全国順位から地域選択により県内市町村を選択する必要がある。

### <新潟県の全国順位>



地域選択で「新潟県」「新潟市」を選び比較対象範囲の指定で「都道府県内の市町村」をクリックする。

### <新潟市の県内順位>



人口増減率について大きい順に並べると、新潟市は県内2位であることがわかった。

## 活用例

- ・ 全国の市町村を設定すれば、全国順位について把握することができる。
- ・ 事業所数や就業者数など項目設定すれば、項目ごとの順位を把握することができる。

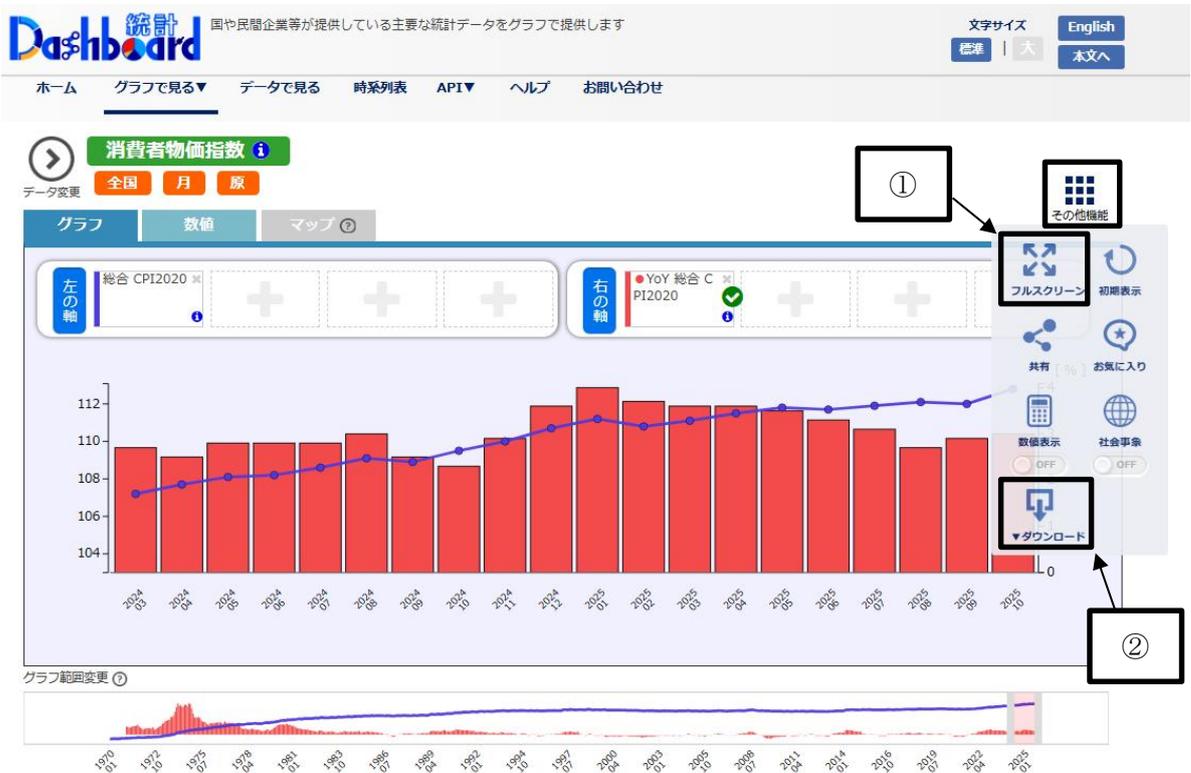
## その他機能

グラフの印刷またはデータのダウンロードをすることができる。

## 例えば

＜全国の消費者物価指数＞

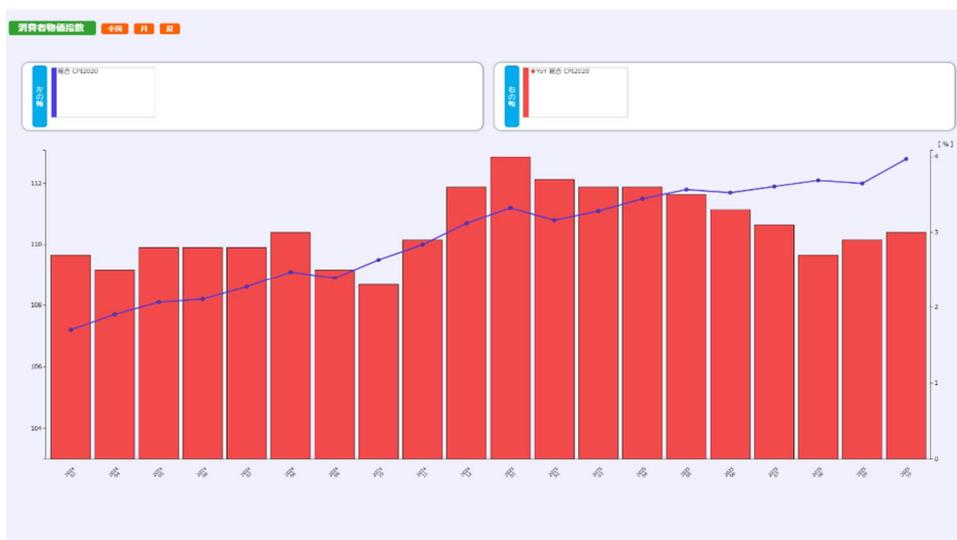
トップページ「消費者物価指数」をクリック→下図のグラフが表示される



### ① グラフを印刷する場合

「その他機能」で「フルスクリーン」を使うと、グラフを拡大させて印刷することができる。ただ、サイト上でグラフを編集して表示することはできないので、編集する場合は下記②のとおりデータをダウンロードする必要がある。

＜フルスクリーンの印刷プレビュー画面＞



### ② データをダウンロードする場合

「その他機能」で「ダウンロード」を使うと CSV 形式で数値をダウンロードできるので、グラフを再作成し、編集することが可能。